

子どもの 見ているつもり? 聞いているつもり? 声を聴く 10

「心地よい暮らし」を つくる・その2

愛知県碧南市
へきなんこども園園長
ユリア

この連載の最後に、ワクワク感がいっぱいの園庭づくりについて、お話ししたいと思います。

さまざまな種類の地面

自然の大地には、まったく平らな地面は珍しいですね。斜めだったり、でこぼこしていたり、硬かったり、柔らかかったり、木の根が出ていたり……。

園庭の環境を考える時、自然にはかありませんが、できる範囲でさまざまな素材の地面をつくりたいと考えています。砂、芝、クッション性のある地面、コンクリート、レンガのインターロッキングブロック、アスファルト、木の根の出ているところ、高低差のあるところ、石畳など、子どもたちが、認知的な知識ではなく非認知的な

感覚や体感を通して遊びながら、体験しながら学んでいくことも大切にしています。

砂地の園庭に木の根が出ているところがあります。考え方によっては、突然出っ張っているから安全のために削って平らにした方がよいとされる考えもありますし、そうした場があっても、子どもたちそれぞれが危なくないように気をつけて遊ぶということも考えられます。どちらでもよいと思いますが、自園では、出っ張っている根はそのままにして、子どもたち自身が気をつけるというスタンスを取っています。

危ないから、大人が手入れをしようとするのではなく、そういったところは子ども自身で見て、自ら避けられる力を持ってほしいと考えるからです。だって、世の中には、平らな道ばかりではありませんからね。

高低差を生かした三輪車専用コース

それから、自園の園庭には三輪車専用の道があります。私が子どもの時に、「ゴーカートに乗って楽しかったな」という思い出があって、園庭にサーキットのようなコースをつくらうと思ったのです。

最初は、地面に棒で線を引いてできた道でした。その後アスファルトを設置する時、地面の高低はそのままにしました。その結果、1か所だけ難所ができました。下り坂でカーブになっています。

初めのうちは、案の定そこで子どもたちがよく転びました。しかし、子どもたちは体験するうちにそこではスピードを落とした方がよいことや、体の重心をずらしてバランスをとることなどを学んでいきました。

サウンドガーデン

何年も前から、園庭にサウンドガーデンをつくりたいと思っていましたが、ようやく、ささやか

なサウンドガーデンができました。

古くなったトライアングルを木の枝にぶら下げてみました。子どもたちには大人気で、4つ程ですが、それぞれ音が違い、早速音を出して楽しんでいます。

外国で見たサウンドガーデンには、板に鍋を張り付けて音が出るようにしたところもありましたが、ご近所に迷惑がないように注意しなければなりません。少しずつ、素敵な音を感じられるものを増やしていきたいな～。

雲梯の効果

—遊びながら身体の発達が促されます

10年程前の話です。自園には雲梯がありませんでした。隣接の幼稚園を法人合併することになり、子どもたちは、その園にあった雲梯で遊び始めました。初めは自分の体重を支えきれず、ストーンと落ちていました。でも、毎日毎日挑戦するうちにみるみる力がついて、大勢の子どもたちがスイスイ渡れるようになっていきました。手に豆ができて、それが潰れて痛いだろうに、それを“ガンバリ豆”と言いながら、誇らしそうに見せてくれたりもします。

ちょっと難しいことをするのが、おもしろいと思えるのかな。夢中になって遊びながら、自分を支えられる力が育っているようです。

法人内の姉妹園にも雲梯を設置したのですが、腕の力がついてきたのか、逆上がりができる子が増えたと言っていました。

自由であることとルールを伝えるバランス

急に暖かくなると、子どもたちは水遊びに興味を持ち始めますね。4月の入園式が終わってまもなくのこと、子どもたちは園庭の小さな川にジャブジャブ入って、そのうちにジャボンとおしりをつけてしまう状態でした。

大人に見守られながら自由に遊べるということ

は素晴らしいことですが、この時期はまだ肌寒く着替えの準備も十分ではないので、子どもたちにある程度のルールを伝えることは必要です。

ドボンと入ってしまう子は、夢中になると周りのことが見えにくい子が多く、その特徴を受容する必要もあるのですが、その中でルールをきちんと伝えていくバランスが大事なのだと思います。伝えた結果、靴を脱ぎ、ズボンの裾をめくり、濡れないように気をつけて遊ぶ姿が見られました。

園庭のない園の子どもたちへ

特に都会では、園庭のない園が増えているようですね。

小さくてもいいから、揺れるもの、ぶら下がれるもの、一本橋を歩くようなもの、そんな道具があるといいな～。工夫して、遊べるように整えられるといいな～。訓練のように順番にするのではなく、自由な遊びの中で体験できるといいな～。



①



②

①芝生のスプリングラワーで水遊び
②サウンドガーデン

この連載は今回で最終回です。ご愛読ありがとうございました。